

01

「先輩パパと我が家のチーム会議」

イベント

R7.9.7（日）

10:00～11:30

@子育て支援ひろば

あやめちゃん

参加者9組27名

講師 武市和宏さん

（SANUKI OUTDOOR FACTORY代表）

講座では、ここ数年での夫婦間の家事・育児の負担割合の変化について、妻だけではなく夫も家事育児にかかる時間が増えていることがグラフを用いて説明されました。しかしながら未だ、家事・育児は妻の仕事という固定概念が残っていることも事実であるため、手伝うという認識からシェアへと意識の転換が必要であると呼びかけられました。

続いて行われたワークでは、まず、夫婦間での家事・育児の負担割合について日常のことを振り返りながら話し合い、家庭ごとに発表・共有しました。平均して2：8（夫：妻）という割合の回答となりました。次に「家事・育児シェア」見える化シートを活用して家事・育児を可視化し、それぞれの項目の役割が〈夫・妻・二人〉のどれに当てはまるかをチェックしていきました。シートへのチェック後に、先に答えた負担割合から変化があったかを各家庭に尋ねていくと、変化があったと答えた夫婦が多かったです。その理由として、見えていなかった家事が見えてくることでお互いが担っている役割が思っていたよりも多かったとの声がありました。

講義の最後に、秋の自然物を使ったワークとして松ぼっくりを積んで親子で楽しむ時間を取りました。松ぼっくりを積むことができるということにも驚く姿がありました。子どもの年齢が低かったこともあり、大人が積み上げたものを崩して楽しむ姿も見られました。



02

「先輩パパと我が家のチーム会議」

イベント

R 7.10.5 (日)

講師 武市和宏さん

(SANUKI OUTDOOR FACTORY代表)

10:00～11:30

@さぬきっず

コムシアター

参加者9組24名

前半はさぬきっずコムシアター主導の手形足形アートからイベントがスタートした。ひろばに初めて訪れる方もいる中で、家族の手形足形の入った可愛い作品が完成し、緊張も解けた状態で講座までの時間を過してもらうことができました。

02

講座では、SANUKI OUTDOOR FACTORYの武市和宏さんを講師に迎えた。自身も仕事をしながら子育て中であることを話し、父親目線で参加者に寄り添いながら講座が進められました。また、SANUKI OUTDOOR FACTORYでの活動では、魚をさばく子どもの姿が紹介された。大人から見るとケガをしないか心配に感じる場面であるが、チャレンジする姿も見守りながら「自分でできた」という経験の積み重ねが得られるよう、子どもたちの成長を応援する姿勢をもって活動していると伝えられました。

各家庭、夫婦間での家事・育児の負担割合について、割合は様々であったが、たとえ10:0の分担割合であっても、大切なのは夫婦で納得感があるかだと伝えられました。参加者の様子を見ていてもひと昔前とは男性側の意識も変わっていることが感じられるが、家庭によって仕事や居住環境、家族構成など異なるなかでそれぞれの家庭のかたちが大切になります。今回のように向き合う時間を持つことで夫婦間のズレも少なくできるのではないかと感じました。

最後には、子どもも含めて家族で遊べるアウトドアな遊びとして松ぼっくり釣りゲームが紹介されました。少し難易度が高かったものの、その分、大人も子どもも夢中になって楽しむことができました。



03 『どろだんご先生とワークショップ』

イベント

R7.10.19 (日) 講師 どろだんご先生(吉本興業株式会社 所属)

13:00～15:00

@南部すくすく

スクエア

参加者12組29名

吉本興業株式会社所属のどろだんご先生を講師に迎え、ピカピカのどろだんごを作るワークショップを、宇多津町にある南部すくすくスクエアで開催しました。対象は3歳児以上の子どもで、開催日が日曜日だったこともあってか、家族ぐるみで参加する家庭も見られました。

講師がこれまでに作ったというピカピカのどろだんごが紹介され、同じようなものを作る事への期待が更に高まった状態でどろだんご作りに進みました。丈夫などろだんごにしていくための大切なポイントについても分かりやすく伝えられていたので、親子で協力しながらどろだんご作りを楽しむことができていました。

また、行程の合間では、保護者向けに土や砂についての話が伝えられました。土に触れると脳から幸せホルモンと呼ばれているセロトニンが出るため、精神を安定させる作用があり、0歳～6歳までの間に土に触れて遊んでおくことで子どもの精神を安定させる効果があることには驚きの声があがりました。

2時間にわたるどろだんご作りであったが、普段の砂場遊びとは違うため子どもの集中力が途切れる場面も見られたが、親子での参加ということもあり協力して作ることを楽しめました。



04 「どろだんご先生の砂場遊び講座」 イベント

講師 どろだんご先生(吉本興業株式会社 所属)

R7.10.20 (月)

10:00～11:00

@高室保育園

子育て支援センターいちごっこ

吉本興業株式会社所属のどろだんご先生を講師に迎え、砂場遊び講座を観音寺市にある高室保育園子育て支援センターいちごっこで開催しました。対象は未就園児とその保護者であり、講座は保護者向けに、ミニ砂場は子どもが触れて遊べるような環境で開催しました。

参加者12組24名

はじめに、フリップを使って砂の話が伝えられました。場で遊び始める時期として、首が座っていれば0歳から遊ぶことができる。砂場に座らせてあげることで体幹が鍛えられていくため、体の発達にも有効であることが伝えられると興味深そうに頷く保護者の姿がありました。

さらに、砂場遊びは成長や発達と共に変化していく遊びであるため、例えば0歳であると砂を握ったり離したりするだけでも刺激になり子どもにとって遊びになります。年齢が上がっていくにつれて、何かを作ったり、そこに友達が混ざって人間関係が入ってきたりと多様に変化していくのは砂場遊びならではの、魅力のつまった遊びであることも理解することができました。

次に、子どものたちも興味を示していた、ミニ砂場を使って遊ぶ時間を取りました。中には砂遊びを嫌がる子どももいるが、例えば、本イベントのような時はお母さんやお父さんが先に触って見せると、子どもも「触っても大丈夫なものなのだ」と認識し、反対に、「汚れるからやめて」というような声掛けをしていると子どもは砂＝汚いと認識して遊ばなくなってしまうということも伝えられました。また、砂場で子どもが作った物を褒める言葉かけをする際には、「すごい！」というだけではなく、どの部分がどのように素敵というように具体的に細かく褒めるといいという声掛けのアドバイスも伝えられ、保護者としての関わり方の学びにもつながりました。

